



生活情報誌

●高齢者と家族のための生活情報誌「悠悠と、」
エリア／札幌市・小樽市
発行／隔月刊(年6回)、奇数月20日発行
売価／150円(税込み)
定期購読料／1年間(6号)1,500円(送料込み)
サイズ／AB判(257mm×210mm)



老後の生活をより豊かに 読者の視点で情報を発信 (株)エヴァナム

高齢者とその家族の視点に立ち、暮らしに役立つ様々な情報を発信し続けるユニークな地域生活情報誌がある。株式会社エヴァナムの「悠悠と、」で、読者の厚い支持に支えられて、創刊からまる2年を迎えようとしている。

創刊のきっかけは、今から6、7年前、当時救急車等の架装メーカーに勤めていた社長兼編集長の真鍋康利さん(51歳)の友人のお母さんが自宅前で転倒、足を傷めた時だった。「病院や車椅子など必要な情報を集めようと、友人と2人で走り回りましたが、医療関係にコネクションを持つ自分でも、欲しい情報にたどり着くまで非常に苦労しました。本格的な高齢化時代を迎えるというのに、これでは安心して暮らせない、高齢者とその家族

に向けた生活情報誌があれば、と実感したんです」。

平成11年5月、前社を退社したが、自分に合う転職先がみつからない。肩をそばめ、背中を丸くしてハローワークへ通う人を見て、「オレは前のめりでいこう」と決意。そして、「自分の得意なことはないんだ」と自問自答を繰り返した結果、「人脈だ。人脈はイコール情報だ」と気づき、以前に考えていた情報誌の発行を思い立ったという。大学時代の友人や先輩、仕事先で知り合った知人など29人もの出資を受け、8月に会社を設立。「失敗したら大切な友人を失う。自分にプレッシャーをかけたんです」と真鍋さん。その他にも北海道の起業化促進奨励事業にも選ばれ、開業資金の助成金500万円も受け、その年の

12月創刊にこぎつけた。

出版や雑誌関係の経験はないが、豊富なビジネスキャリアと持ち前の熱意と人脈を進める、素人ならではの視点に立った誌面づくりは、読者からも好評。現在、10号を数え、発行部数は札幌、小樽を中心に5万部。

個人の定期購読者を中心だが、お年寄りのなじみの調剤薬局などで配布しているほか、金融機関が年金の受け取りにくる顧客に配布、あるいは牛乳宅配会社が顧客に配布するなど、企業が顧客サービス用に購入するケースも増えている。

10月号は「高齢者共同住宅について考える」をテーマに、その実態を同居者の生の声も取り入れながら分かりやすく紹介。現在編集を進めている12月号は「冬本番を前に」をテーマに、より快適に冬を過ごすために便利なグッズやアイデアを紹介する予定だ。

読者からの要望や意見を素早く取り入れ、読者の視点でわかりやすく情報を発信するのが、創刊当初から変わらない編集方針。「高齢者には元気な人が多いので、これからは老後をどう快適に、楽しく生きていくかを提案していきたい。また、高齢者予備軍ともいえる団塊の世代の人たちに、自分の将来のためにも読んでほしい、声を出してもらえよう。情報誌をめざしたい。団塊の世代が年長者の知恵と経験を受け継ぎ、良い形で次世代に伝えることが急務だと思いますから」。



株式会社エヴァナム
代表取締役
真鍋 康利さん(51歳)

1950年4月13日、大阪府生まれ。高校卒業後2年間日本全国を旅したあと、北海道大学水産学部へ進学。卒業後道内のワインメーカーを経て、首都圏の自動車メーカーに転職。その後環境ビジネス会社を経て88年に帰道、自動車架装メーカーを経て、99年から現職。

創刊当初からのスタッフで、片腕でもあるマネージャーの美濃進さん(45歳)と次号の編集内容を打ち合わせる真鍋さん



●問い合わせ先
株式会社エヴァナム
札幌市中央区南6条西13丁目4-35
札幌ケアセンタービル2F
011-522-2710